

小学校
5年

環境問題を深く知るための資料を探そう

阪南市立桃の木台小学校

教科	国語	単元名	固有種が教えてくれること
----	----	-----	--------------

本時のねらい

・関心のある環境問題を選び、その問題についての統計資料を集めることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・Google Classroomに資料を投稿することで、自分のペースで学習を進めることができる。
 ・ロイロノートスクールの共有機能を活用することで、いつでも友だちの意見を見ることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイロノートスクール ・Google Classroom・Forms ・スクリーン ・プロジェクタ ・統計資料の例（光村図書） ・子ども環境白書（環境省）

本時の展開

本時で育む主な情報活用能力

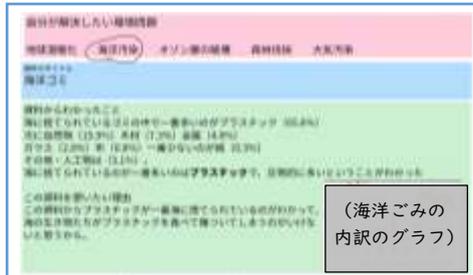
A-STEP 3, B-STEP 3
G-STEP 3, H-STEP 3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の内容の確認をする。 資料を用いる良さを、読み手・書き手の視点に分けて学習したことを確認する。 ○本時のめあてを確認する。 「自分が関心のある環境問題を選び、その問題にあった資料を探そう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方、わかったことの書き方を Google Classroom に投稿し、いつでも見返せるようにする。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれが関心のある環境問題をロイロノートスクールで共有したあと、調べるテーマを決定する。 ・なぜその環境問題を選んだのか、またどうしてその問題を解決しようと思ったのかも合わせて考える。 ○選んだ環境問題に合った資料を集める。【写真1】【写真2】 ・資料からわかったことを書きだし、自分の考えの裏付けになっているかどうかを確かめる。 ○同じ環境問題を選んだ児童同士で、伝えたいことや選んだ資料について話し合う。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化＝赤、海洋汚染＝青などと、関心のある環境問題と対応する色のシートを児童に提出させ、共有することで、だれが何の環境問題を調べるのか児童同士が確認できるようにする。 ・Google Classroomに資料のリンクを投稿し、自分のタイミングで見られるようにする。 ・資料のリンクは環境問題ごとに分類してフォルダにまとめ、フォルダ内の資料にはそれぞれタイトルをつけておく。 ・資料はグラフなどの統計データに限定して、図書やインターネットから集めておく。 ・ロイロノートスクール上のシートに記入し、提出する。シートには自分が解決したい環境問題、資料のタイトル、資料からわかったことを記入させる。 ・共有ノート機能を活用し、いつでも友だちのシートを見にいけるようにする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Formsを使い、資料を集める際に意識したことについて記入させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】資料からわかることを記入している様子

【写真2】記入したシート（一例）

【写真3】同じ環境問題を選んだ児童同士で資料を見せ合い、話し合っている様子

児童生徒の反応や変容

・学習の進め方が Google Classroom に投稿されているので、どんな活動をすればよいのか、また何を参考にすればよいのかを、自分のタイミングで確認することができた。
 ・選んだ環境問題は同じでも選んだ資料は違うことがあり、意欲的に資料からわかったことを話し合うことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・なぜその環境問題を選んだのか、またどうしてその問題を解決しようと思ったのかを考え、ロイロノートスクール上のシートに記入させておくことで、資料が自分の考えの裏付けになるかどうかという視点が生まれ、調べる内容を深めることができた。
 ・統計データの解説にあたる文章を資料からカットして提示することで、児童は統計データからわかることを自分で考えて入力することができた。